

正儿



正儿

## 大いなるエルチキよ

---

おお  
さっくりとした  
ころもの歯応え

128円にしては  
高級感のある味わいよ  
なんとも言えぬ  
衣と鶏肉とのハーモニー

美味しいわたしの エルチキよ  
口のなかで とろけるあぶら

ああ、私の人生の至福よ

さくっと

---

店頭で買い求める。

そして

エルチキを包み込む包装紙の点線部分から

ぴりっ、と、包装紙の半分を切り取る。

そのまま、ローソンの外のゴミ箱前をかぶりつく。

おお、何という喜びだろうか。

さくさくした衣の歯応えから

油がじわっと染み出てくる鶏肉の歯応えまで

購入した直後に味わえるとは

人間として生まれてきて

これほどの至福と感動があるのか！

ああ、エルチキよ！

僕に労働直後の感動を与えてくれるエルチキよ！

128円の、高価なる感動よ！！

食後に活動をするための

テンションを与えてくれるエルチキよ！

この世の至福よ！

口のなかで蕩け出すあぶらよ！！

至高の楽しみよ！

ああ、何故

---

ああ、何故、

128円でこれ程の感動が味わえるのだろうか。

鶏肉のうまみを凝縮したようなそれは  
口のなかで忠実に蕩け出す。

ああ、蕩けてゆく。  
ぼくの人生も、Lチキも。

あのさくさくした歯応えは、いったいどこからくるのだろうか？

ああ、とろけていく。  
この食品は、芸術だ。  
アートだ！！

ファーストフード好きな、この僕が、  
Lチキほどの感動をおぼえる、ファーストフードを  
食べた事があつたらうか、  
いや、無い。

色々食べたけれど、  
やはり・・・  
Lチキが最高だねえ・・・。

買ってすぐに食うのがうまい。  
何故なら、温度こそが  
Lチキのウマさを引き立てる  
最高のスパイスだからである。

さあ、みんな、エルチキを買おう！！

---

さあ、皆も、

エルチキを買おう！！

ローソンに行こう！！

現役ローソン店員の、このぼくが！！

みんなにおしえる、魔法の言葉、4文字

「え る ち き」

この4文字で、きみたちはしあわせになれるんだよ！！

ここで、Lチキの普通とはちょっと違った食べ方。

～ 冷やし中華にLチキ ～

- ①ローソンで冷やし中華を買います。
- ②Lチキを買います。
- ③冷やし中華の上にLチキを乗っけます。
- ④完成。食おう。

まず、冷やし中華のメンを食うでしょ？

んで、エルチキを食う。

冷やし中華のメンに、エルチキの鶏肉の味が

とろっ・・・とからまり、

絶妙な味のハーモニーが！！

ああ・・・うまい。

この世にファーストフード自体あってありがとう！！

で、パート②。あ、この文章あくまで詩だからね。

～ Lチキカレー ～

- ①Lチキを買います。
- ②普通にカレーを作ります。
- ③Lチキを5等分ぐらいに包丁で切ります。
- ④カレーの上にLチキを乗っけます。
- ⑤なんと、カレーが、Lチキのカツカレーっぽく大変身！！

Lチキのなんともいえない鶏肉の味と〜〜〜！！！！

カレーの味がミックスして、

あああああ、カレーエルチキですこれはああああああ！！！！

うまい！

いやー・・・ウマイんだよこれが。

みんなも、エルチキ、買おうね！

さくさくした、歯応えが

とろりと、ぼくの人生をとろかす。

ああ、エルチキよ、

永遠にぼくの人生をとろけさせて欲しい！！

エルチキよ不滅であれ！！

エルチキ (Lチキの詩)

<http://p.booklog.jp/book/28438>

著者：せいうんですよ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/seiundesuyo/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/28438>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/28438>